

協定校留学報告書

記入日	20240919
学部・学科	理工学研究科 都市システム工学専攻
学年	2年
(留学開始時の学年)	1年
留学先大学・国名	シドニー工科大学・オーストラリア
留学開始・終了時期	2023年8月～2024年7月(12カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
小さなころから漠然と海外に憧れがあったものの、様々な理由で挑戦できませんでした。学生として留学できる最後のチャンスだと考え、挑戦しよう決めました。また建築を専攻しており、今後日本企業も海外に進出していくことが見込まれているため、視野を広げ、自分の強みにすることができると考えたのも理由の一つです。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
第一に英語を学べるのが最優先事項でした。その中から建築を学ぶためにはどの協定校が良いか悩んでいた際に、研究室の教授からシドニー工科大学を勧めていただき決定しました。オーストラリアは日本から比較的近く、時差も小さい・治安もかなり良いため保護者にも安心感を与えやすいと考えました。
③ 留学の準備はいつ頃開始しましたか。
大学院で院進学しようとしたのは大学4年の5月頃でした。保護者や教授への相談は意志を固め、留学について整理して夏ごろからはじめました。英語試験 (IELTS) は同じく夏ごろからだったと思います。
④ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
私は IELTS を複数回受験し、テストに慣れました。語学は新しい教材などは一切買わずに、大学受験で使用した単語帳を何周もしました。IELTS は日常で使用しない単語が使われることが多いので、直接的には役立ちはありませんでしたが、思考を英語でできるように心がけていました。しかし現地で会話にかなり困ったので、スピーキングにもう少し注力すればよかったと思います。
⑤ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうがいいことがあれば教えてください。
私は2Q中盤からの留学だったので、1Qの授業単位のみ取得しました。就職活動は帰国してからすぐ始めましたが、夏のインターンシップ参加申し込みが間に合わず、周りの学生よりも一歩で遅れることになりました。そのため、単位や就職活動などどれも事前にいつ履修登録・申込があるのか明確にしておいた方が良かったと思います
⑥ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (<input type="radio"/>) b. 個人の保険のみ (<input type="checkbox"/>) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (<input type="checkbox"/>)
⑦ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい (<input type="checkbox"/>) 具体的に： b. いいえ (<input checked="" type="radio"/>)

⑧ 留学先への入国手続きについて、どのように準備しましたか。 (査証申請手続きや新型コロナウイルスにかかる水際対策対応の手続き等)
書類提出等がかなり苦手なので、書類が揃い次第すぐに査証申請手続きをしました。新型コロナウイルスにかかる水際対策は特に必要なく渡航しました。出国の際に虫歯があり、申し込んだ保険では適用外だったため他の保険も申込を検討しましたが、結局申込せず自費で治療しました。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。
8月～11月(Spring Semester)、2月～5月(Autumn Semester)それぞれ3科目ずつ、2時間で週6時間の授業でした。残念ながら、私が在籍していた1年では留学生専用コース(Australian Language and Culture)には日本人学生したくありませんでしたが、授業内では英語で会話し、個人やグループで街アンケートをしたり、文化や労働環境について調査をして発表を行いました。
② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
Australian Language and Culture に在籍していると必須授業だけで必要単位数を満たしてしまいます。そのため、他の授業の単位を取得することができませんでした。私は建築概論の授業を教授に許可をいただき聴講させていただきましたが、履修登録をすることができないので授業資料のダウンロードができない・グループワークの授業には参加できないなどもデメリットもありました。
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
全員が日本人だった・授業時間が短かったため、授業でどれだけ密度高く英語を学べるかに努力しました。前期授業ではついていだけでかなり大変で、わからないまま流してしまうことも多々ありましたが、後期授業では自分から英語を話そうとできました。日本人が多いことのデメリットもありましたが、わからないことを聞きやすかったのはかなり安心材料となりメリットももちろんありました。

[前期] 時間割 Spring Sem

	月	火	水	木	金
1					
2	2h(10-12:00) Australian Conversations		2h(10-12:00) Natural Australia		
3				2h(12-14:00) Neighbourhoods and Stories	

[後期] 時間割 Autumn Sem

	月	火	水	木	金
1			2h(9-11:00)		

			Australian Media		
2	2h(11-13:00) Australian at Work			2h(10-12:00) Australian Language	
3			2h(13:00-15:00) Design and Construction 聴講		

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
キャンパスはシドニーの中心の駅（セントラル）のすぐ近くにあり、キャンパスからオペラハウスに向かう街がとても栄えていました。様々な国籍や文化が織りなす街はどこかの路地へ入っても活気があり面白く、私は本当に大好きでした。人も多すぎず、緑も多く、治安も人柄もよく、休みの日はビーチやピクニックをしたりできる、まさに CHILL という言葉がピッタリの街でした。海外が初めての私にはとても合っている街だったと思います。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮（○）： 何人部屋でしたか（6人）男女混合でキッチンバストイレ共用の一人部屋 b. アパート（○）： 何人部屋でしたか（5人）女5人の二人部屋 c. ホームステイ（○）： 何人部屋でしたか（2人）男女一人ずつの一人部屋 d. その他（○）具体的に：ホステル 2段ベッドの女4人部屋
③住むところはいつ頃、どのように申し込みましたか？また、どのような選択肢がありましたか？
最初は寮の申し込みが間に合わなかったためホームステイを契約し（Flatmate）、入居までの2週間ホステル→1か月ホームステイ→大学へ遠かったため大学近くのアパートへ3か月（Flatmate）→友人が住んでいた大学寮へテイクオーバーし8か月ほど滞在しました。
④ 住環境（建物の場所、お部屋の間取りや設備、ルームメイト等）はどうでしたか。
ホステル：立地がよくシェアキッチンが新しくかなり楽しかったが、長期滞在はむいてないと感じた。 ホームステイ：大学から遠かったが一人部屋で最も部屋が広く、ホストマザーも優しくかった。 アパート：立地もよく、ルームメイトが全員2.30代女性で毎日が女子会のようなようでした。オーナーも優しく、部屋も清潔 寮：大学のすぐ隣で、同じ大学の友達とすぐに会うことができ、ルームメイトとは何度もでかけるくらい仲良くなれました。
⑤ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン（ ） b. 主に外食（ ） c. 自炊と外食が半々程度（○） d. その他（ ）具体的に：
（補足説明） 賄いを持って帰ってきてくれたり、売れ残った廃棄を配ってくれたりして食事にはあまり困らずに生活できました。日本食もあり、あまりたくさん買って持たなくても大丈夫かもしれません。
⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。
まずは日本・オーストラリアサークルに入りました。最初はほとんど会話についていけませんでしたでしたが、日本語が分かる現

地学生と仲良くなり、だんだん英語の割合を増やしていきました。他の人ともサークルに参加していると何度も顔を合わせるので、自然と話が始まることが多くありました。また寮に住み始めてから様々な人とスモールトークをする機会が増え、英語を話しに遊びに行っていたのが、生活していたら英語を話していたように英語を使うハードルが下がったように思います。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

最初の長期休暇は主に IELTS の勉強を行いました。図書館で勉強することが多かったです。最後の長期休暇は主にバイトをして過ごしました。スモールトークに苦手意識があったため、カフェで働き、色々な人と話すことに挑戦していました。またバイトで稼いだお金で旅行に出て、オーストラリア国内外の様々な建築を見ることができました。

⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

オープンマインドな人々と接していると楽しいのですが、疲弊してしまい体調を崩すことが多々あったため、無理せず自分のペースで人と関わろうと意識していました。危機管理として、ながらスマホをしない・荷物から目を離さないことに気を付けていました。何があってもすぐに対処できるよう、警察・保険会社・大学・保護者の連絡先を常に持ち歩くようにしていました。

⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

オーストラリアは多国籍国家で様々な文化がそこかしこにあるため、誰もが違い、美しさや正しさの基準は一つではないように感じました。そのため、ジャッジメンタルで何か一つの基準を強要されることも、差別を受けることもありませんでした。食べ物も着るものも様々な種類があり、自分の心情によって選択することができるように感じました。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

※各費用の下の空欄には補足事項をご記入ください。どんな些細な情報でも大歓迎です。

留学前

査証申請費	65000 円
今は 16 万に値上がりしたと聞きました…	
渡航費(往路航空運賃)	200000 円
帰りにアジアを周遊したので行きの航空券運賃×2した値段です	
海外旅行保険代（出発前に日本で加入したもの）	80000 円弱
だった気がします！	
コロナ水際対策費用（陰性証明書、隔離費用、移動費等）	0 円
特になし	

留学中

授業料（有料コースを受講の場合）	0 円
通常通り茨城大学への授業料以外なし	
授業料以外の学費（教材費や登録料）	44000 円
IELTS 受験代	
現地で加入した保険料	

住居費（寮費）	130000 円/月
住居費（寮費以外の費用、光熱水料やインターネット）	0 円
シドニーは割とどこも込みの値段が多いと思います	
食費（自炊・外食の有無）	30000～80000 円
外食がかなり多かったので着いたばかりのころは食費がかなりかさみましたが、段々と節約法を体得	
通信費（SIM カードや現地でスマホ購入等）	30000 円
シドニー国際空港で OPTUS を 1 年分 店員さんが SIM カードいれてくれました	
交通費（通学に必要なバスや休日市内での公共交通機関）	32000 円
定期券がなく痛い出費でした	
娯楽費（国内旅行に行ったり）	800000 円弱
メルボルン、ゴールドコースト、ケアンズ、ウルル、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、韓国	
その他生活費	円
渡航費(袋航空運賃)	円
留学先でのお金の管理方法（クレジットカード、デビットカード、現地での口座開設等）	
CommonWealth のデビットカードをスマホにつなげ、タッチ決済が 9 割 現金 1 割	

留学経費の負担について

留学のための奨学金等や助成金を利用した場合は以下もご記入ください	
奨学金名	
応募方法	

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。（わかる範囲で結構です）○をつけてください。
a. () 4年で卒業予定
b. (O) 卒業は延期する予定（延長予定期間： 1年 ）
② 就職・進学のための活動について教えてください。（留学中にしたこと、留学後の予定など）
就活に関するインターンシップは毎年 6 月ごろから申し込みが始まっていたようですが、すっかり忘れて就活に一步で遅れてしまい、帰国後の 8 月から申し込みを開始しました。夏はセミナーやオープンセミナー等に参加して、かならず海外進出に関して質問し、海外に興味があることを示すようにしています。
留学では IELTS を使用しましたが、就活のために帰国後 TOEIC も受験しました。（大学でオンライン試験を無料で受けられたので）

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

留学中はつらい・うまくいかない経験をし、心が沈んでしまうことが多々ありました。でも日本に帰ってきて振り返ると、つらかった記憶よりも楽しかった記憶が強く残っていたことに気が付きました。また精神的にもかなり成長を感じ、物事の考え方や人とのコミュニケーションの取り方も変わったように感じています。留学前は語学や専門科目を学ぶことだけを考えていましたが、実際はそれだけではなく人間的に大きく成長することができ、自分に自信が持てるようになりました。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

一言で言うなら、人生が変わったと思います。もともとかなり人生に対して固定概念をもっており、幸せはどうあるべき・〇〇歳なら、女ならこうあるべきと強く考えていましたが、様々なバックグラウンドを持つ人と普段から接することで、今まで持っていなかった広い視野を得ることができ、人生の選択肢がものすごく増えました。周りの人と同じでなくていい・自分のやりたいことをしてもいいという気付きは、今後の人生を大いに彩ってくれるだろうと考えています。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学に少しでも興味があるのなら、絶対に行ってください。私は中学・高校・大学と留学に行きたいのに時間がない・お金がないと言い訳してきましたが、卒業が1年遅れてでも大学院で留学に行けたことは、これまでの人生で一番価値のある選択肢だったと自信を持って言えます。とりあえず申し込んだら、あとはなるようになります。